

2022 年度 東北支部大会・臨時支部総会 開催されました

2022年9月10日(土) ハーネル仙台 5階「かえで」(仙台市)において、日本比較文化学会東北支部大会及び臨時支部総会が開催されました。(下記プログラムを参照ください)

新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンライン開催が続いていました支部大会でしたが、この度は久々の対面とありご参加の皆様は話に花が咲くお時間をお過ごしでした。

次回の支部大会・総会は2023年3月に対面での開催を予定しております。詳細が決まり次第、学会本部ホームページならびに次号のNewsletterにてお知らせいたします。3月にみなさまにお会いできることを楽しみにしております。

2022 年度 日本比較文化学会東北支部臨時総会・東北支部研究大会 プログラム

(1) 東北支部臨時支部総会 (14:00~14:15)

・開会の辞 (日本比較文化学会東北支部 支部長 高橋栄作)

— 休憩 (14:15~14:20) —

(2) 研究発表 (14:20~16:35)

司会：伊藤豊 (山形大学)

1. 野口周一 (川口短期大学) (14:20~14:50)
「日本人の台湾経験」

2. 横地徳広 (弘前大学准教授) (14:55~15:25)
「名もなき民の脱底と沈黙する神 —苦海の時間と歴史をめぐって—」

司会：佐藤和博 (弘前学院大学)

3. 石俊彦 (東北大学大学院国際文化研究科 大学院生) (15:30~16:00)
「中国の韓流ドラマ受容における中国政府の存在
—1997-2016年『中韓共同声明』および『中韓共同コミュニケ』を中心に—」

4. 斎藤隆枝 (国際医療福祉大学)・河内健志 (高崎経済大学)・高橋栄作 (高崎経済大学) (16:05~16:35)
「学校外 ICT 機器使用時間が中学生の英語学習意欲及び英語力に与える影響」

(3) 閉会の辞 (16:35~16:40)

ご報告

2022年9月10日に行われた臨時支部総会において高橋栄作東北支部長より「日本比較文化学会東北支部会則の制定」について発議があり、参加者一同(委任状を含む)に承認されました。これにより、2022年9月10日から「日本比較文化学会東北支部会則」が施行されました。